

**基本方針** 【長岡版イノベーションの基本的な考え方】変化の波を的確にとらえ、従前にとられず市民生活の向上と産業の活性化を実現する。大きな変化をチャンスととらえ、市政のあらゆる分野に新たな発想や先端技術を取り入れ、人材育成と未来への投資を行う「新しい米百俵」の実現に向けて、全力で取り組む。

分類	産業の振興・起業の促進	人材の育成	市民生活の向上	行政事務の効率化
目的・方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな産業クラスタを形成し、学生や地場産業との連携促進</li> <li>学生や若者が起業しやすい環境の創出</li> <li>長岡で最先端技術に触れる機会の創出</li> <li>長岡における新しい産業の動きの可視化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「楽しむ」から「学ぶ」、そして「仕事」につながるコンテンツの提供</li> <li>長岡の未来を支える産業人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化による市民生活の利便性向上</li> <li>新しいツールを活用し個々の市民に最適な情報・サービスの提供</li> <li>新しい技術や考え方を取り入れた行政課題の解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民目線に立ち様々なノウハウを活用した、行政事務の徹底的な見直し</li> <li>市が持つデータを活用した市民サービスの構築</li> <li>事務の自動化による人的資源・財源の有効活用</li> </ul>
先進技術・サービスの先駆的な導入により、長岡のイメージアップを図り、産業の形成へつなげる				

<b>主な取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>地域経済を牽引する企業群の形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域未来投資促進法を活用した中核企業の育成(商工部各課)</li> <li>新たな産業団地の整備(産業立地課)</li> <li>IT系企業の拠点誘致(産業立地課)</li> </ul> </li> <li>● <b>多様な主体が連携する拠点形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>米百俵プレイス(仮称)を「新しい産業の拠点」へ(中心市街地整備室、産業イノベーション課)</li> <li>NaDeC構想の推進(産業イノベーション課)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>大学と産業界が交流・連携し、産業を創出</li> <li>大学における先進人材・起業家育成</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>先端技術に対応できる子どもの育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>米百俵プレイス(仮称)を「未来の長岡を支える人づくり・学びの拠点」へ(中心市街地整備室)</li> <li>様々なレベルに応じた、多彩なプログラミング教室の実施(ながおか・若者・しごと機構推進課、学校教育課)</li> <li>ロボコン活動を通じ、楽しみながら学ぶものづくりの実践(工業振興課、学校教育課)</li> </ul> </li> <li>● <b>楽しみながら子どもの感覚を磨く</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルテクノロジー(Ar、VR、eスポーツ等)、サブカルチャー関係イベントの開催・誘致(ながおか・若者・しごと機構推進課)</li> <li>長岡しごと体験ランドの実施(ながおか・若者・しごと機構推進課)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>市民と行政のアクセスのデジタル化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の属性に対応してプッシュ通知できる広報ツールの導入(広報課)</li> <li>電子申請の整備による行政窓口チャンネルの多様化(行政管理課、情報システム管理課)</li> <li>繁忙期における市民窓口の混雑や不満の解消(市民窓口サービス課)</li> <li>キャッシュレス決済の導入・普及(行政管理課、収納課)</li> <li>多様な手段による納税催告(収納課)</li> <li>場所を選ばず受付できる口座振替申請(国保年金課)</li> <li>外国人市民支援のための通訳・翻訳ツールの導入(国際交流課)</li> </ul> </li> <li>● <b>福祉・子育て</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>データに基づく健康・福祉施策の検討(健康課)</li> <li>支援が必要な家庭に届く情報提供の仕組みづくり(子ども家庭課)</li> <li>フェニックスネットの利用推進(長寿はつらつ課)</li> <li>ICTを活用した高齢者・子どもの見守り(地域振興戦略部、市民課)</li> <li>保育現場におけるIT技術の活用(保育課)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新しい手法を活用した政策形成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政が課題を示し官民連携で解決する「オープンイノベーション」の確立(イノベーション推進課)</li> <li>デザイン思考を取り入れた市民目線での政策形成(イノベーション推進課、人事課)</li> <li>市が保有するデータ等を活用した政策形成(イノベーション推進課)</li> <li>ナッジの活用による政策効果の向上(イノベーション推進課)</li> <li>各種データの見える化(GIS、i-都市再生ほか)(情報システム管理課、都市計画課)</li> <li>行政事務におけるデータ利活用や先端技術導入に向けた職員の育成確保や専門組織の整備(人事課、行政管理課、情報システム管理課)</li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>4大学1高専と連携した新技術の活用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>イノベーションハブの展開(産業イノベーション課、工業振興課)</li> <li>AI、IoT、ロボット技術の活用による生産性の向上、地域や市民生活の課題解決(工業振興課)</li> </ul> </li> <li>● <b>起業家育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生への起業家育成支援(産業イノベーション課)</li> <li>官民共同の資金調達方法の検討(産業イノベーション課)</li> </ul> </li> <li>● <b>実験フィールド提供・テストマーケティング</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共目的に資するサービスを行うベンチャーの誘致・支援(イノベーション推進課)</li> <li>下水道革新的技術実証事業(B-DASH)による高濃度メタン発酵技術の実証(下水道課)</li> </ul> </li> <li>● <b>農業経営の効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>長岡版スマートアグリ研究会による実証実験(農水産政策課)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>長岡をAI・デジタルデザインの聖地に</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>著名な研究者との関係強化(産業イノベーション課、イノベーション推進課)</li> <li>学会の誘致(産業イノベーション課、イノベーション推進課)</li> </ul> </li> <li>● <b>産業人材の育成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様なインターンシップの展開(産業支援課、工業振興課)</li> <li>高度外国人材の活躍環境の整備(産業支援課、工業振興課)</li> <li>地元専門高校と連携したデジタルモノづくり人材の育成支援(工業振興課)</li> <li>まちなかキャンパス長岡における市民向け講座の実施(市民協働課)</li> </ul> </li> <li>● <b>土木・都市政策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな公共交通システムの導入検討(交通政策課)</li> <li>先進技術を活用した雪対策(道路管理課、地域振興戦略部)</li> <li>山古志地域自動運転サービス実証実験(交通政策課)</li> <li>空き家情報の発信とマッチング(住宅施設課)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>教育</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子図書館サービスの拡充(中央図書館)</li> <li>遠隔システム導入などによる学習機会の確保(学校教育課)</li> <li>小中学校の学習環境の充実(教育総務課)</li> </ul> </li> <li>● <b>観光・交流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>インバウンド観光の受入の充実(観光企画課)</li> </ul> </li> <li>● <b>防災</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>汎用性のあるツールを活用した災害情報の発信・共有等(危機管理防災本部)</li> <li>ドローンの救助現場への導入(警防課)</li> <li>災害時等における水道管路情報の共有(工務課)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>新しい発想や技術を活用した行政事務の効率化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>AI技術やRPAを活用した事務の自動化の推進(情報システム管理課、イノベーション推進課、資産税課、中心市街地整備室)</li> <li>音声認識による議事録作成の自動化(情報システム管理課)</li> <li>公共施設における施設運用の省力化(行政管理課)</li> <li>登降園管理システム導入による保育士の事務負担の軽減(保育課)</li> <li>タブレット端末を活用した資料の一元管理及び情報伝達の迅速化(議会総務課)</li> </ul> </li> <li>● <b>新しい発想や技術を活用した職員の働き方改革</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブ会議システム導入などによる執務環境の改善(行政管理課、市民窓口サービス課、情報システム管理課、中心市街地整備室)</li> <li>場所を選ばず職務遂行できる仕組みづくり(情報システム管理課)</li> </ul> </li> </ul>

**《凡例》**  
 赤色：令和2年度新規事業(一部新規含む)  
 緑色：継続事業  
 黒色：その他(事業終了見込みもしくは検討中等)